



北方領土

令和3年3月(第13号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

令和2年度北方領土に関する標語・キャッチコピーについて

(独)北方領土問題対策協会では、毎年、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論を喚起するため、標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では 10,450 作品の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。

最優秀賞 「絶やすまい 返還つなく 強い声」池永 一広 (大阪府)

優秀賞 「受け継ごう 四島(しま)への想い われわれで」増田 俊二 (兵庫県) ほか3名

北方領土返還運動全国強調月間【令和3年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、コロナ禍のもと、全国で各種媒体による広報やパネル展などの行事が実施され、返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、県庁パネル展、県内4市(福島、郡山、いわき、会津若松)の路線バスのフロントマスク啓発公告、県内主要駅(JR 福島駅、郡山駅、会津若松駅、いわき駅、新白河駅)におけるポスターの掲示、福島交通飯坂線車内における中吊り広告、大型ビジョン(福島駅前、郡山駅前)における啓発動画放映、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6、7日に県内全域でラジオスポット CM を放送しました。



(↑飯坂線車内中吊り広告)



(令和2年度「北方領土の日」ポスターコンテスト(北海道庁主催) ↑最優秀賞受賞作品)

北方領土返還要求全国大会【令和3年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日に「北方領土の日」に東京都で開催されています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客での開催となり、内閣総理大臣等からのビデオメッセージや全国からリモートでの参加など、これまでの開催方式とは異なった大会となりました。

菅内閣総理大臣からは、北方領土問題の解決に向けて次のとおり挨拶がありました。

「昨年9月、私は、内閣発足後まもなく、プーチン大統領と電話会談を行い、平和条約締結問題を含む対話を継続することで一致しました。会談では、私から「四島への航空機墓参を始めとする、元島民の方々のための人的措置を重視しており、四島をめぐる協力を更に強化したい」旨述べ、プーチン大統領からは「元島民の「ビザなし訪問」の重要性を認識しており、新型コロナウイルス感染症が収束すれば再開する用意がある」旨の発言がありました。これまでの両国間の諸合意を踏まえて、今後も着実に交渉を進めてまいります。」



(写真:内閣府ホームページ)

令和2年度北方領土に関する全国スピーチコンテスト【令和3年3月】

このスピーチコンテストは、次代を担う若い世代(対象:中学生)が北方領土問題を身近な問題として捉え、この問題に関心を持ち、北方領土に関する歴史等を正しく理解することをねらいとし、より一層の北方領土教育の充実と強化を図ることを目的として、平成23年度から実施されています。今年度は3,625作品の応募があり、選考を通過した10名が最終選考会に参加しました。最終選考会は例年東京都内で開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生のスピーチ動画を審査員がYouTubeで視聴し、審査するという開催方式となりました。

本県からは福島大学附属中学校2年の安田 周平さんが最終選考会に出場し、「共に語り合おう～想像のその先へ～」という題目で、奨励賞を受賞しました。安田さんはふるさとを追われた島民と東日本大震災により避難を余儀なくされた県民を重ね合わせ、互いに歩み寄り知恵を出し合うことの必要性、意見交流や議論の場の大切さ、を訴えました。

※安田さんのスピーチ原稿より一部抜粋

僕たちは、想像のその先へ、一歩進む力がある。なぜならば、僕たちには若さがあるから。いくらでも考える時間がある。そして考えたことを実行する時間がある。僕たち若者には、未来を変える力がある。「みんな、僕と一緒に北方領土問題について語り合わないか？」

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」